ACTION アクション

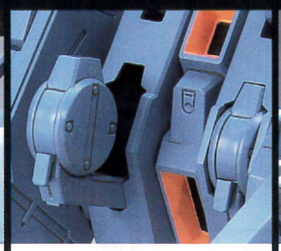
※一部の画像はバンダイプラモデルアクションベース2(別売り)を使用しています。

REAR VIEW リアビュー

DETAIL ディテール

30mmバルカン砲

300発の装弾数を有する頭部のバルカン砲は、多彩な武装を設定された本機にあって見た目こそ派手さはないものの、有効レンジでの弾速と集弾性能は特筆に値する。

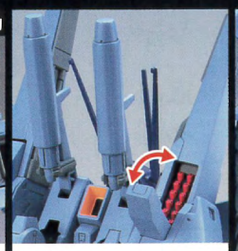


インコム

開発ベースの連邦製試験機にも搭載されていた、一般兵士でも扱える準サイコミュ式遠隔兵装。インコム・ユニットを有線で操り、簡易的なオールレンジ攻撃を行う。本機のインコムは準サイコミュ技術の進化によって、ベース機からさらに洗練されている。

肩部ビーム・キャノン

ジェネレーター直結式のビーム・キャノンは、バックパックを大きく展開させて前方向への射撃体勢をとることが可能。要塞的な攻撃能力を持った本機には、ロングレンジでの戦いであっても死角はない。



対艦ミサイル／ミサイル

背部には長大な射程を持つ対艦用のAMS-09R型(2発)と、対モビルスーツ用のAMS-01H型(24発)という2種のミサイルを備えている。

脚部可動

AMX-014 ドーベン・ウルフ(ユニコーンVer.)

宇宙世紀0096年。『袖付き』の本拠地〈バラオ〉から脱出せんとした《ユニコーンガンダム》は何者かに強襲を受ける。その相手――アクシズのネオ・ジオンで8年前に作られた機体、《ドーベン・ウルフ》は両腕に『袖』を巻き、その身に収めた武装類を一切鈍らせることなく、全てが当時のままの力を保っていた。出し惜しみすることなど微塵も感じさせず、背面から発射した多数のミサイルを雨のように降らせ、間髪入れずに携行するビーム・ライフルを連続して撃ち放つ《ドーベン・ウルフ》。最新機体であるはずの《ユニコーンガンダム》は携行火器の不調か反撃することもままならず、周辺の爆光に照らされてシールドで固めた純白の装甲を際立たせるしかなかった――《ドーベン・ウルフ》の潤沢過ぎる武装類は、モビルスーツ単機での戦闘能力を優先した当時の開発傾向によるものであり、この圧倒的密度を持った攻撃も8年前の機体だからこそ可能としていたのだ。流れるように"単機での"連係攻撃を続ける青い狼は、仕上げにかからんと胸部に収めた2門のメガ粒子砲口に力を込めて…!!

(機動戦士ガンダムUC(ユニコーン)バンデシネ5巻　バラオ攻略戦Act.2より)

※画像はイメージです。

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、右の基本色をご覧ください。

※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●本体等ブルー部：	●本体等ダークブルー部：	●バーニア内等オレンジ部：	●センサー等ピンク部：	
ホワイト(40%) ＋ブルーグレー(30%) ＋すみれ色(30%)	パープル(50%) ＋ブルーグレー(50%) ＋ブルー(少量)	ホワイト(60%) ＋オレンジ(20%) ＋オレンジイエロー(20%) ＋グレー(少量)	ピンク(100%)	
●手甲等ダークグレー部：	●関節等グレー部：	●ミサイル等レッド部：	●袖等ホワイト部：	●袖等ブラック部：
ブラック(70%) ＋ホワイト(30%)	グレー(75%) ＋すみれ色(25%)	モンザレッド(100%)	ホワイト(100%)	ブラック(100%)

©創通・サンライズ

AMX-014 DÖVEN WOLF (UNICORN Ver.)

NEO ZEON QUASI PSYCOMMU MOBILE SUIT

MODEL NUMBER : AMX-014
TOTAL HEIGHT : 22.0m
WEIGHT : 36.8t
GENERATOR OUTPUT : 5,250kw
MATERIAL : GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS :
BEAM SABER
MEGA LAUNCHER (BEAM RIFLE)
30mm VULCAN GUN
INCOM
BEAM HAND
MEGA PARTICLE CANNON
BEAM CANNON
ANTISHIP MISSILE
MISSILE

1/144 SCALE

HG UNIVERSAL CENTURY

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Fees accrued by your communication and connection to the Internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。

機動戦士ガンダムUC(ユニコーン) MSV MOBILE SUIT VARIATION

BANDAI 2013 MADE IN JAPAN
0183658
BANDAI

●画像の完成品は塗装してあります。

⚠警告（けいこく）

保護者の方へ　必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 生後18ヵ月未満のお子様には絶対に与えないでください。ひもなどで首を絞める危険があります。

⚠注意（ちゅうい）

- 縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。
- 先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

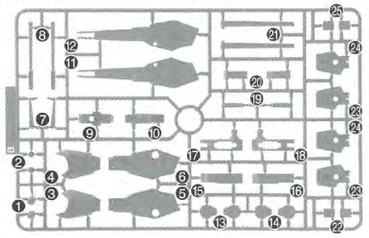
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

・塗装をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

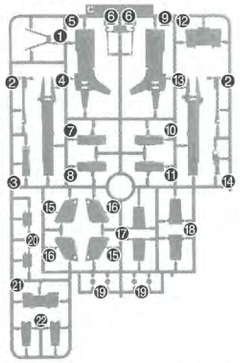
パーツリスト（×印は使用しないパーツです。）

Aパーツ（スチロール樹脂：PS）

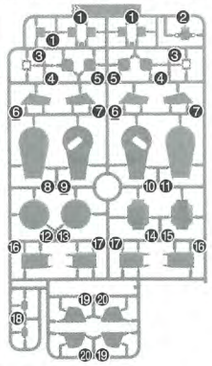
Bパーツ（スチロール樹脂：PS）



Cパーツ（スチロール樹脂：PS）

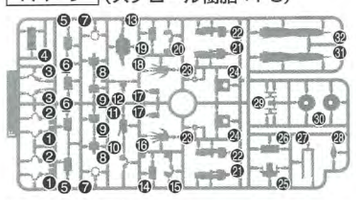


Dパーツ（スチロール樹脂：PS）

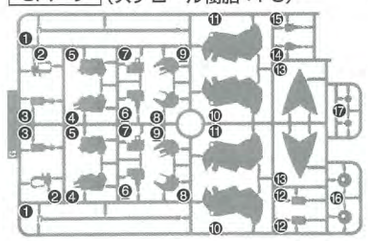


Eパーツ（スチロール樹脂：PS）

Fパーツ（スチロール樹脂：PS）

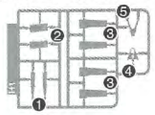


Gパーツ（スチロール樹脂：PS）



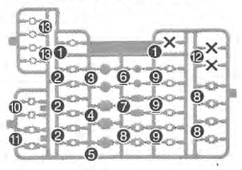
SB1パーツ（スチロール樹脂：PS）

H1パーツ（スチロール樹脂：PS）



H2パーツ（スチロール樹脂：PS）

〈PC-132ABC〉（ポリエチレン：PE）

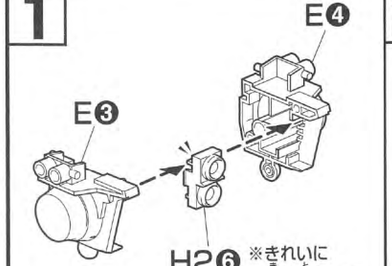


- ホイルシール……1
- リード線……2

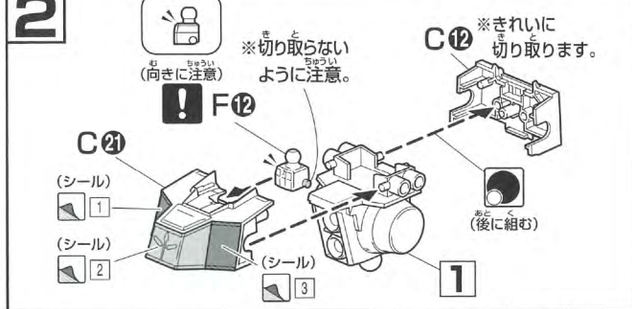
（塩化ビニル樹脂：PVC）

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

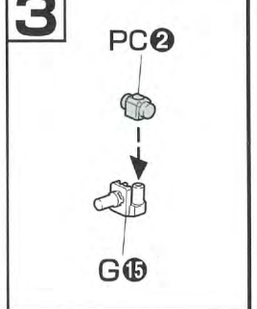
1



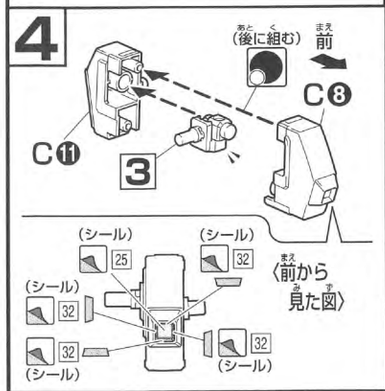
2



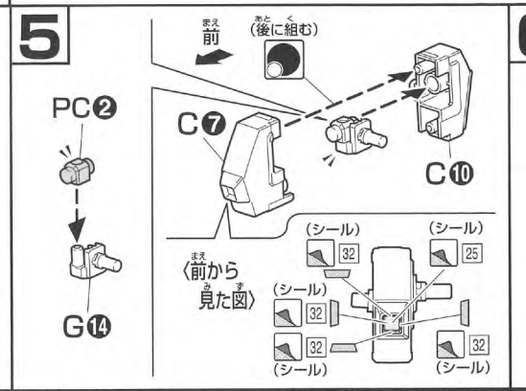
3



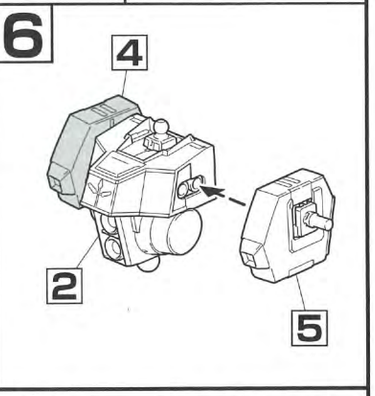
4



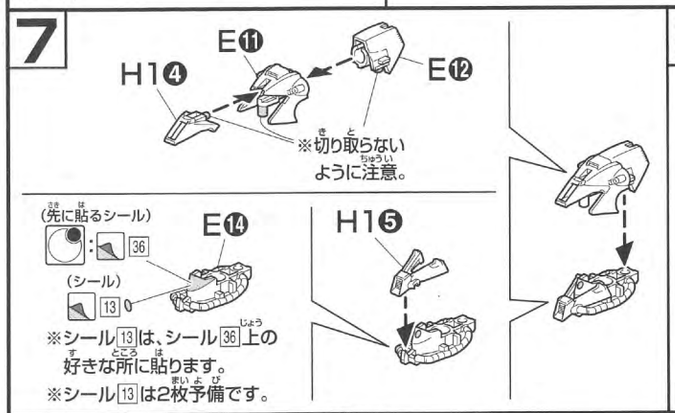
5



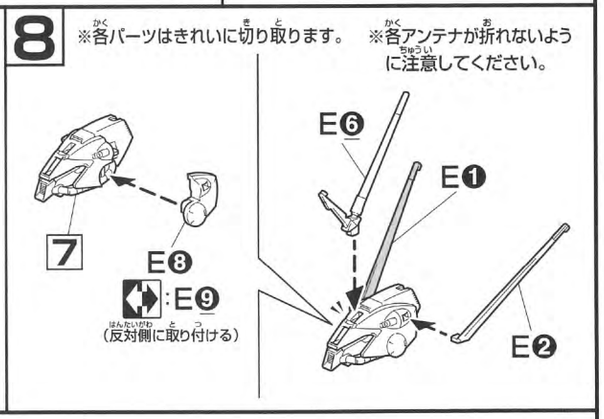
6



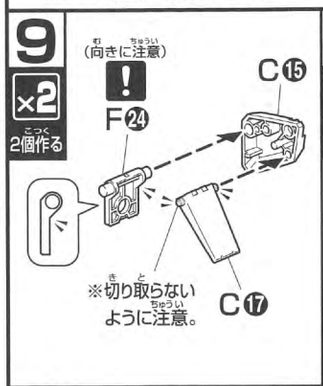
7



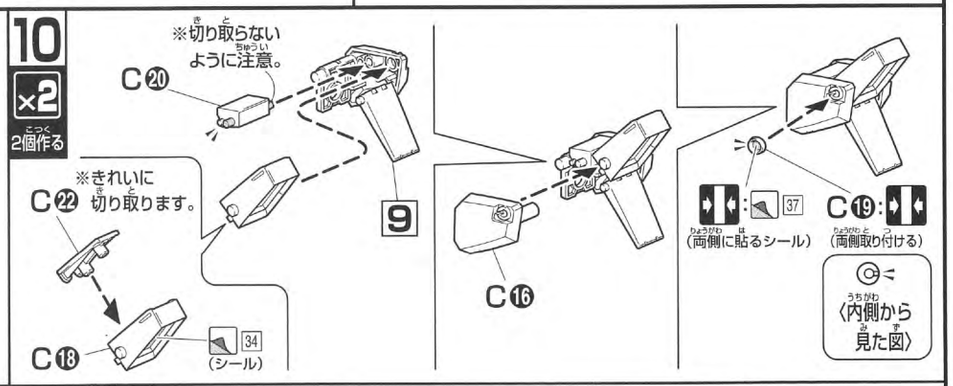
8



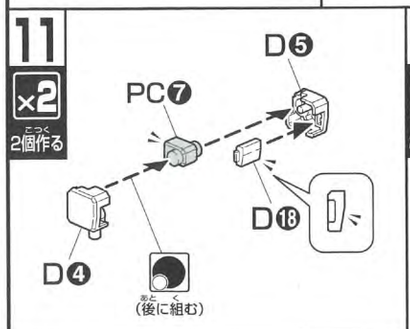
9 ×2 2個作る



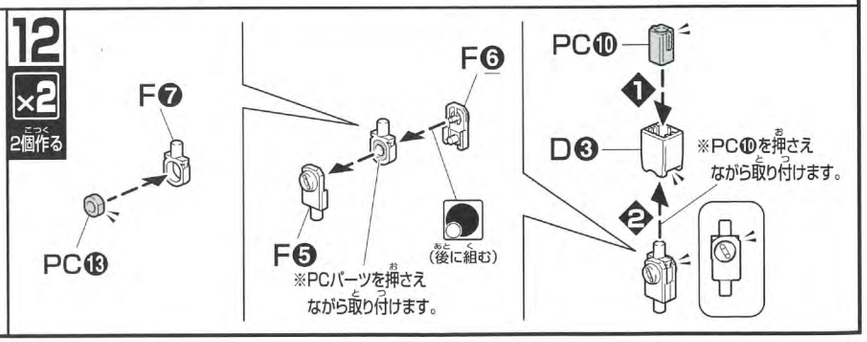
10 ×2 2個作る



11 ×2 2個作る



12 ×2 2個作る



13
×2 2個作る

(シール) 20 (シール) 18 (シール) 21 (シール) 22 (シール) 19

〈組み付け位置〉

前

〈上から見た図〉 前

B24 A1 A3 PC8 (後に組む) B23 PC6

14
×2 2個作る

※各パーツはきれいに切り取ります。

13 H13 B22 H13 B25

15
×2 2個作る

11 12 14

16

F19 F20 D1 (選んで取り付ける) D1 F16

15 6 (シール) 4 (シール)

17

F15 F14 D1 (選んで取り付ける) F18 D1

15 5 (シール) 7 (シール)

18

※各アンテナが折れないように注意してください。

10で作った肩 8で作った頭部 10で作った肩 6で作ったボディ 16で作った右腕 17で作った左腕

19
×2 2個作る

PC4 G5 (後に組む) G4

〈内側から見た図〉 D20 D20 D20:D19 (反対側に取り付ける)

20
×2 2個作る

E5 PC9 E7 ※きれいに切り取ります。

21
×2 2個作る

19 20

22
×2 2個作る

G6 PC8 (後に組む) PC13 G7

23
×2 2個作る

G8 (後に組む) ※PCパーツを押さえながら取り付けます。 G2 PC2 G9

(後に組む) PC2 D17 D16

24
×2 2個作る

G3 PC11 G12 (後に組む)

25
×2 2個作る

PC9 A8 G11 24

PC8 G16

〈組み付け位置〉

26
×2 2個作る

25 G10

27
×2 2個作る

26 A2 1 (シール) 11 A7 2 パチン (シール) 12 A10 D7 D6:D6 (反対側に取り付ける)

〈後ろから見た図〉 (シール) 17

28

※各パーツはきれいに切り取ります。

(後に組む) D12 向きをかえます。 D10・D11

27 15 15:16 (反対側に貼るシール)

29

22 23 28 21

30

※各パーツはきれいに切り取ります。

(後に組む) D13 27 16 16:15 (反対側に貼るシール)

向きをかえます。 D8・D9

31

22 23 30 21

32

F13 PC1

向きをかえます。 D15 PC5 F4 (後に組む) D14

33

(シール) 38 (シール) 33 (シール) 39 (シール) 39 (シール) 38

〈横から見た図〉 32 E13 E10 ※きれいに切り取ります。

34

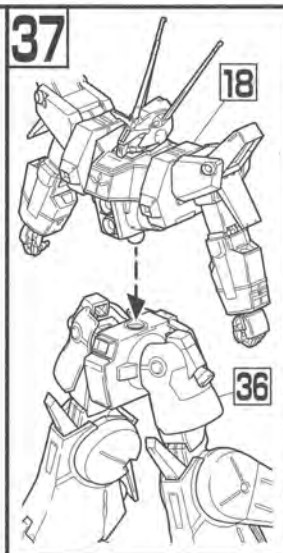
D2 (シール) 10 33 A4 (シール) 8 (シール) 9

35
×2 2個作る

A9 G17

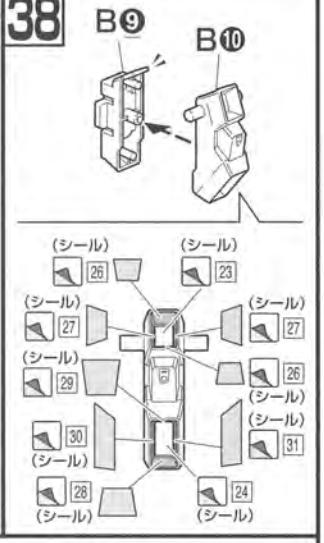
36

37



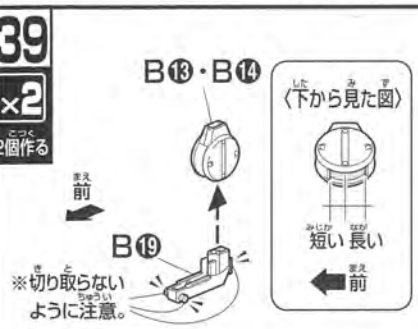
※バンダイプラモデル
アクションベース2
（別売り）差し込み用
（丸型）BA4-A❾に
対応しています。

38

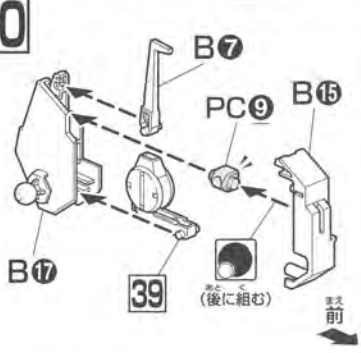


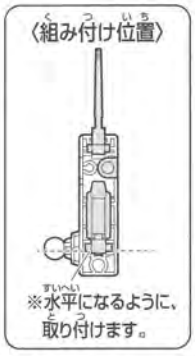
39

×2
2個作る

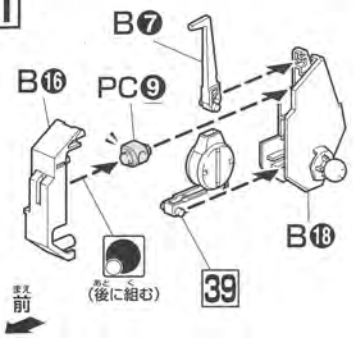


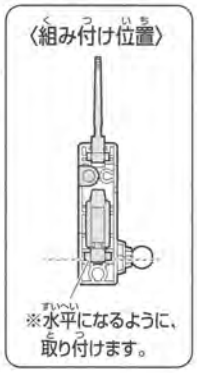
40

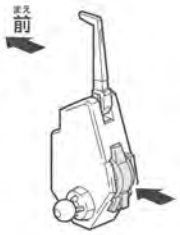




41

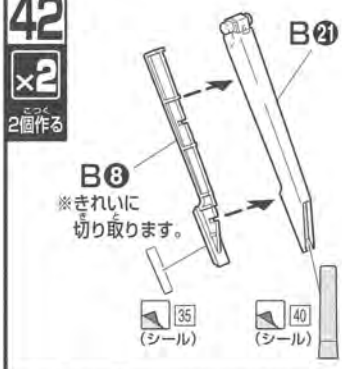




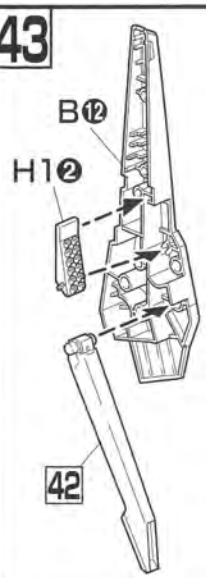


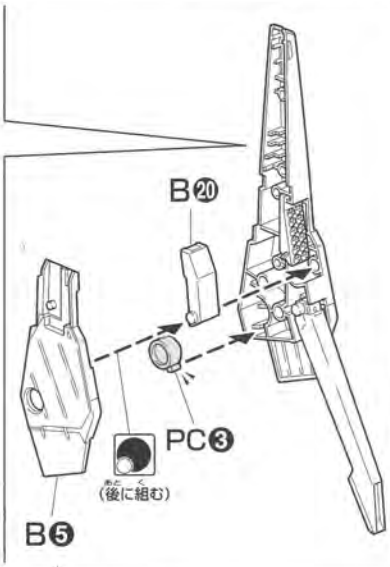
42

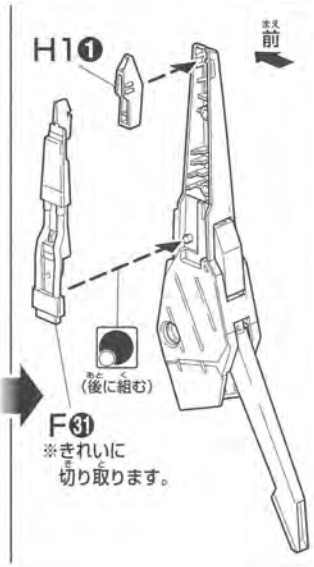
×2
2個作る



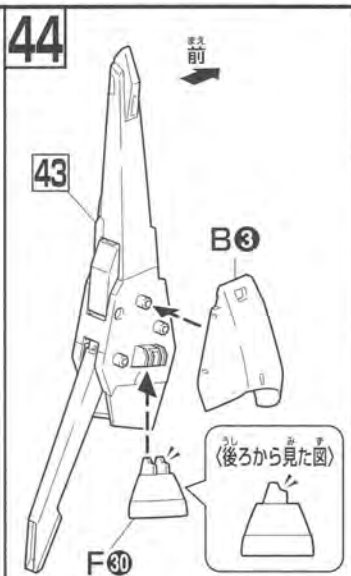
43







44



AMX-014 DÖVEN WOLF[UNICORN Ver.]

強火力と高機動を追求した結果、機体の大型化とニュータイプ能力を持ったパイロットのみが搭乗することを許されたネオ・ジオン（アクシズ）の第4世代モビルスーツにあって、はじめて一般兵士が扱える機体として完成を見たのがAMX-014《ドーベン・ウルフ》である。数奇な運命からネオ・ジオンへ渡った連邦軍の準サイコミュ搭載型試作機をベースに開発された本機は、準サイコミュ兵器だけでなく、モビルアーマー級の大型ジェネレーターを主動力源とした「恐竜的」な素地を持ち、ビーム・実弾を問わず多数の内装武器を備えていた。20m超えの大型機ではあったが、あくまでモビルスーツサイズの範疇にあった本機は、その枠内で要塞クラスの恐るべき重火力を手にしていたのである。宇宙世紀0088年にロールアウトした《ドーベン・ウルフ》はその卓越した性能を軍上層部に買われ、精鋭部隊に優先して配備が行われた。宇宙世紀0096年のネオ・ジオン残党軍においても残存機体が引き続き運用されており、カラーリングの変更、他の配備機同様『袖』のエングレービングが施され、本拠地である〈パラオ〉の防衛用モビルスーツとして変わらぬ存在感を示していたという。

ビーム・サーベル
モビルスーツの兵装としては一般的となった、ビームの刀身を形成する近接用装備。機体腰部の左右に合計2本格納されている。

メガ・ランチャー（ビーム・ライフル）
通常は携行火器のビーム・ライフルとして使用するが、ユニットを伸長させ、機体の胸部メガ粒子砲口部へ接続することによってメガ粒子の加速装置となり、通常時から3倍以上の大出力を誇るメガ・ランチャーへと変貌する。

胸部メガ粒子砲

SPEC
型式番号：AMX-014
全高：22.0m
本体重量：36.8t
ジェネレーター出力：5,250kw
装甲材質：ガンダリウム合金
武装：ビーム・サーベル／メガ・ランチャー（ビーム・ライフル）
30mmバルカン砲／インコム／ビーム・ハンド／胸部メガ粒子砲
肩部ビーム・キャノン／対艦ミサイル／ミサイル

隠し腕／ビーム・ハンド
マニピュレーターは高圧電流発生機能とビーム発射口が備わった独特な性能・形状を持つ。一般機は有線式だが、指揮官機の場合はレーザー通信による遠隔ユニットに変更され、さらにその射出後は上腕部から隠し腕が露出し、ビーム・サーベルなどの補助的な携行が可能。

HGUC シリーズラインナップ　※この商品には、『HGUC ドーベン・ウルフ（ユニコーンVer.）』が1体のみ入っています。

『UC-MSV』のMSをHGUCで確認せよ!

機動戦士ガンダムUC ユニコーン MSV MOBILE SUIT VARIATION

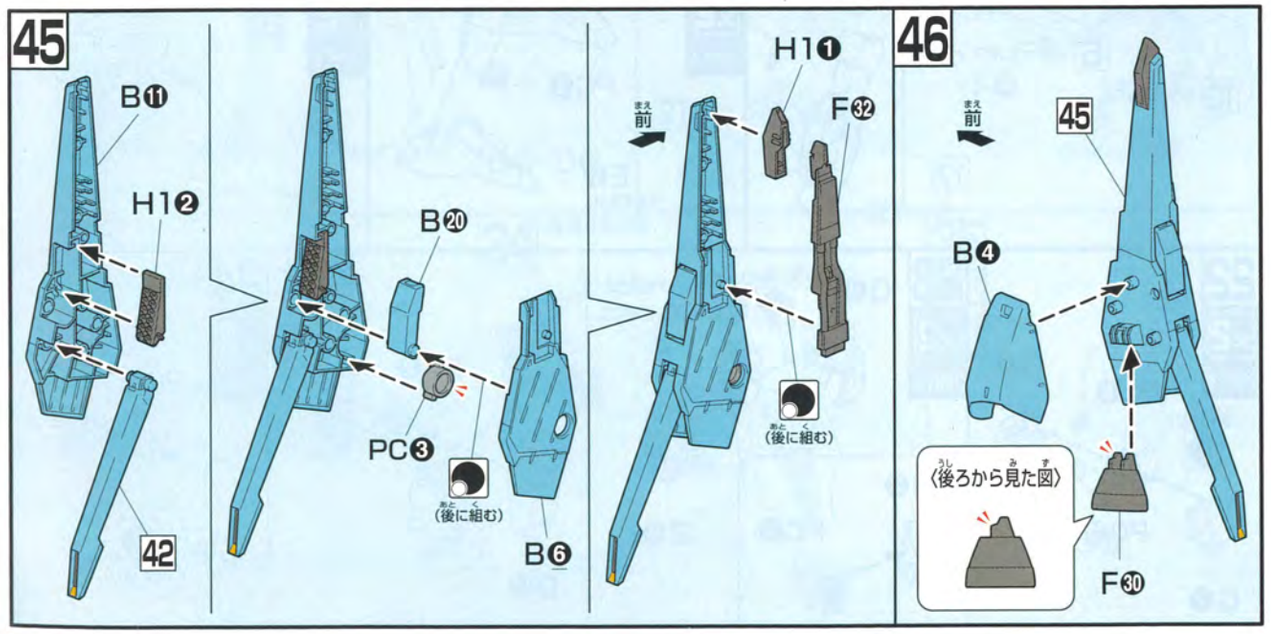
UC-MSVとは
機動戦士ガンダムUC（ユニコーン）世界に登場する魅力的なモビルスーツラインナップにさらなる彩りを与えるバリエーション、それがUC-MSV。コミカライズやゲームなど、ジャンルを問わずさまざまな新モビルスーツが登場。そしてあなたはもう一つの"可能性の獣"に出会う!!

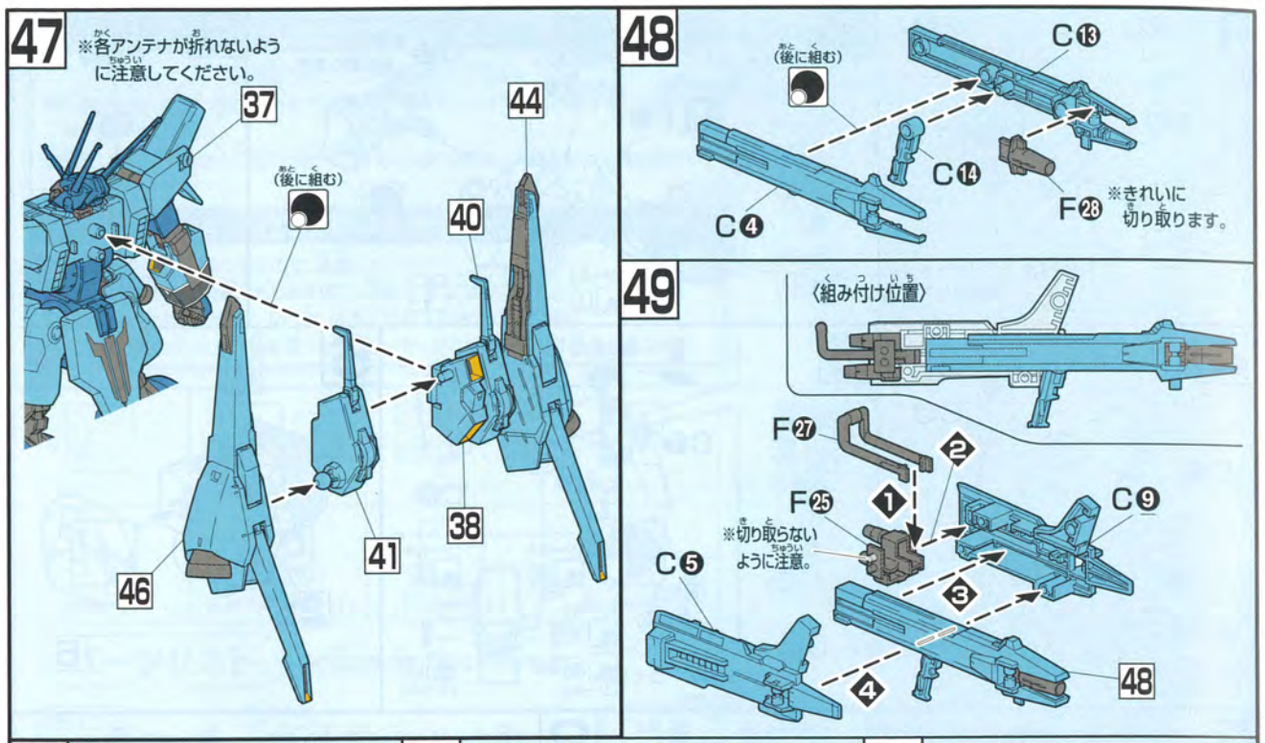
準サイコミュ兵装「インコム」他ビーム・実弾を問わず、要塞クラスの重火力を持った機体。

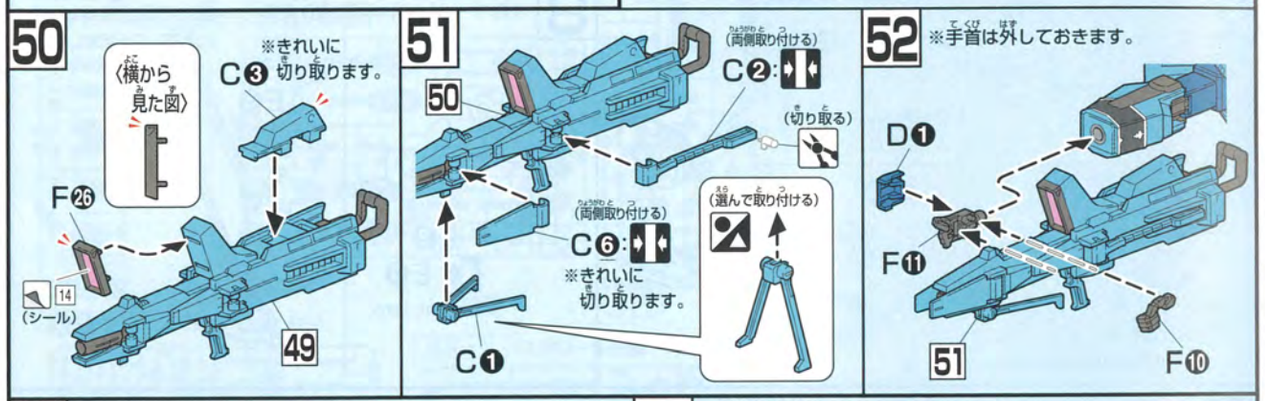
デルタプラスの設計データの基となったTMS。Zガンダムに匹敵する性能を秘めていた。

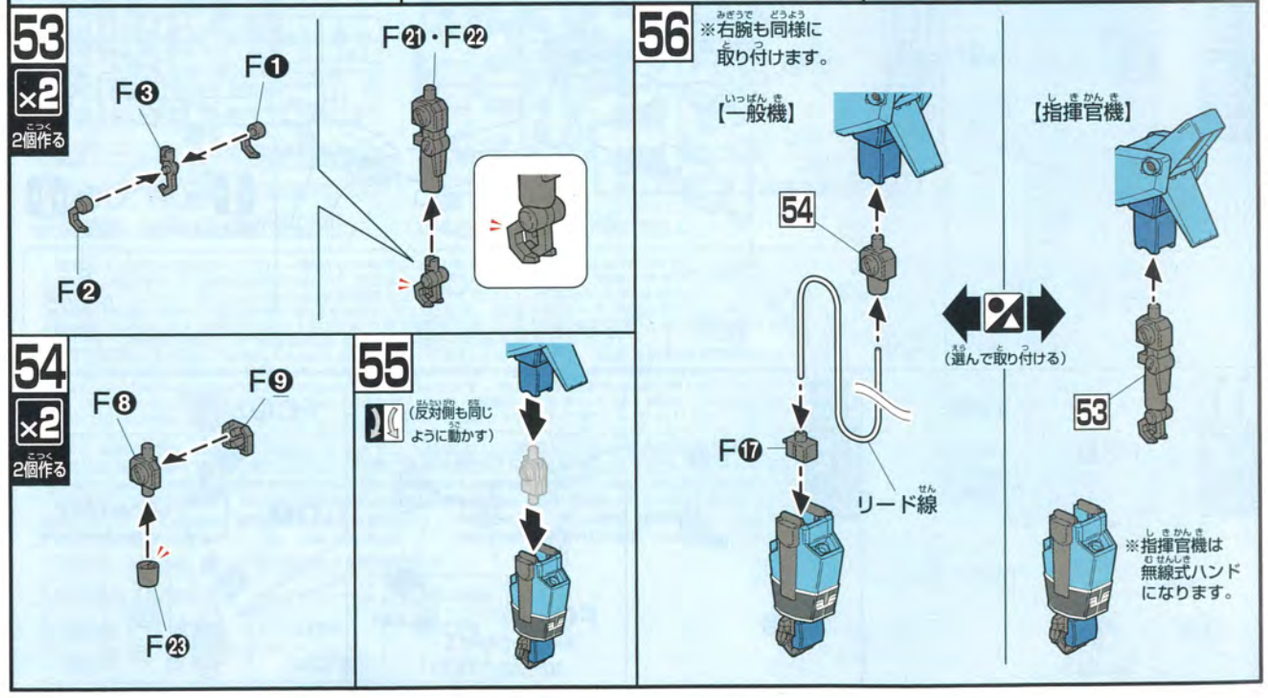
デルタプラスに「特殊装備」を追加実装し、それらの技術実証を目的とした試作TMS。

HGUC No.160 ドーベン・ウルフ（ユニコーンVer.）
HGUC No.136 デルタガンダム
HGUC No.148 ガンダムデルタカイ









57
×2
2個作る

※右腕も同様に
取り付けます。

56で作った射出された腕部
※一般機、指揮官機どちらでも
飾る事ができます。

G❶

G⓭

58
(反対側も同じ
ように動かす)

59〈肩部ビーム・キャノンの展開〉
※各アンテナが折れないよう
に注意してください。

60
(反対側も同じ
ように動かす)

〈横から見た図〉
※可動後に頭部を取り付けます。
※各アンテナが折れないよう
に注意してください。

❶
❷

59
〈横から見た図〉

61〈メガ・ランチャー発射形態〉
51

62
61

63
(反対側も同じ
ように動かす)

※手首は外しておきます。

62

※説明のため、一部イラストを省略しています。

64
×2
2個作る

B❶・B❷

(向きに注意)

F㉙

65
※頭部の各アンテナを避けながら
取り付けます。

64

パチン

64

〈組み付け位置〉

※説明のため、一部
イラストを省略
しています。

66
×2
2個作る

SB1❶

A❻

※切り取らない
ように注意。

A❺

(左手にも持たせられます)

※手首は外しておきます。